

グローバル化した現代において、日本の伝統文化を尊重しながら、

新たな価値の創造へと挑戦する大和美人たちの活躍に迫る。

きものを纏う静かなひととき
ひとりでじっくり考えることのできる
「ソリテュード」の時間を大切に過ごしたい

きものライフスタイルコンサルタントとして、中学生から年配の方々まで指導されている津田和壽澄さんは、以前はきものと全く縁のない生活を送っていた。今では「きものは普段着」と話し、新たな自己創造のステップとしているという。

きものライフスタイルコンサルタント、ソリテュード(積極的孤独)研究者 津田 和壽澄さん

「外国人は民族衣装を着ているのに日本人はなぜ民族衣装を着ないの?」
という疑問があった

大和美人——津田さんのきもの姿を見ていると、この言葉がびつたりと当てはまる。上品なふるまいや身のこなしを身につけ、「この人と一緒にいると気分がいいな」と思わせてくれる。きもの姿の立ち居振る舞いが鮮やかなので、きものとの結びつきはさぞかし古くからだろうと思いきや、実は津田さんがきものと出会ったのはまだ10年も経っていないという。きものと出会う前は、人事戦略コンサルタントの仕事をしていて、日本とアメリカを往復する多忙な日々を過ごしていた。

「当時は高級ブランドのスーツを着て、オフィスと自宅を行ったり来たりしているという、きものとはまったく縁のない生活を送っていた

したね」

しかし、海外のパーティーで懇談しているときに、一種の違和感を覚えたという。

「外国人の方はパーティーに出席すると、自分たちの国の民族衣装をまとっていったんです。純粋に「わあ、素敵」と憧れの眼差しで見えました。」

ところが、同じ場に出席している日本人の方々はどうと、みんな判で押したようなブランドもののスーツ姿だったんです。正直なぜ?と思っていました。

民族衣装を着ている方々からは、それぞれの国の文化の香りや品性を感じました。

しかし、私たちはなぜ自分の国の民族衣装を着ないのだろうか? 自国を誇りに思わないからかしら? という疑問が湧いてきました。

そんな津田さんがその後、仕事に疲れ果て、やがて会社を退職し、一人でふさぎこむ時間を過ごすようになる。まさに「引きこもりのよう

とを提唱していきたくて素直に思いました。しかも、きものを纏うという行動は私が研究しているソリテュード(積極的孤独)という概念を表現するための一つの手段であると、直感的に結びついたんです。

Tシャツやジーンズなどを着るには数十秒で済む。きものを纏うには、どんなに着なれていても一〇分程度はかかってしまう。しかし鏡を見ながらのその時間は、自分を映し出すソリテュード・タイムでもあるのだ。周りは慌ただしくても、内面には静かな時が流れている。そんな深く精妙な世界へと想像の羽根を伸ばしながらきものを纏うことは、まさにソリテュードという生き方なのである。

「孤独」というと、「寂しい」「一人ぼっち」などとマイナスな面を思い出しがちだが、「自分らしさを取り戻す」時空間の側面も併せ持つことを意識したい。

ゆっくりとお風呂に入って一息つく時間、リビングでお茶を飲んでいる時間……そんな何気ないひとときを過ごしているときに、ふっとい

な状態だった」と話す津田さんは、大学院で孤独について研究を始めるようになった。その時「ひとりですす時間の効用」について体系的に学び、それをソリテュード(積極的孤独)と名付け孤独学研究の第一人者となったのだ。

「一人で過ごす時間というのは、人を成熟させるものであって、全ての人が持っている能力なんです。日本は高度経済成長期に、集団で行動する(仕事をやる)ことによって成功しましたが、今はそうした時代ではありません。自分は何者なんだろうと、自分探しをする人が増えていました。」

そうした背景から、日常生活でのひとりの時間の効用を活性化させることにより、自分の軸を太くしていくことが大事であると考え至るようになりました。

「きものを纏うこと」は「ソリテュード」を楽しむこと。
それが、わたしを成長させるライフ・スタイル。

ソリテュードを学んでいた同じ時期に、友人から「きものを教えてくださる先生がいるから一緒に習ってみないか?」と声をかけられた。津田さんは「一度くらいなら」という軽い気持ちでその先生に会ってみることにした。すると、きもの素晴らしさ、奥深さととりつかれてしまったという。

「今まで私が考えていたきものは、ハレ、つまり特別な日に着るもの、という印象が強かったです。でも、私は日常生活でもっときものを着るこ

いアイデアが浮かんだりするような経験をみなさんはお持ちでないだろうか? ひとりの時間をどう過ごすかによって、心の丈を伸ばせるようになる、津田さんは力説する。

「私はきものを着ることによって、以前のようなスーツを着て仕事をしていたときは違って、本来持っていたはずの心のゆとりやおおらかさを身に纏えるようになったと思います。」

ひとりの時間を意図的に持つことは、心が豊かになるだけでなく、クリエイティブな発想を引き出せるようになるでしょうし、たずまいも美しくなるでしょう。そんな姿は、ひとえに心の中に静かな水を湛えた場所をもっていられるか否かにかかわってくる様です。

今、中高生から社会人まで、幅広い世代の方にきもの指導や意義をお伝えしていますが、みなさん、きもの魅力・魔力・威力について共感してくださいませ。

これからは全国を行脚して、きものが持つ美しさ、面白さ、思いやりの心などを、ソリテュードという生き方提案の一つとして、一人でも多くの方へ伝えていければと考えています。」



津田 和壽澄 (つだ・かずみ)

青山学院大学英米文学科卒業。ニューボート大学行動科学部人間行動学科修士課程修了。
住友商事、デュボンジャパン、メリルリンチ証券、ラッセル・レイノルズ・アソシエイツ等、国内外でのビジネス経験後、大学院で孤独学を研究。一人の時間の効用を「ソリテュード(積極的孤独)」と名づけ、QOL(人生の質)を高める生き方として提案する。そのライフスタイルの一つとして、「犬ときもので散歩」をコンセプトに、365日のきもの生活を実践。執筆、講演、TV出演等で活躍。
著書に『「着たい!」私のふだんのきもの』『もう、「ひとり」は怖くない』(以上祥伝社)、『孤独力』(講談社)ほか。
ホームページは www.kazumiryu.jp

【告知情報】

9月15日(火) 19:00より
「きもの魅力・魔力・威力」ミニ講演とワークショップ
会場：国際文化会館 Eルーム
東京都港区六本木5-11-6
お問い合わせ：info@kazumiryu.jp
参加費用：3500円



大和美人は非営利団体「大和美人」との共同企画としてお届けしています。
美しく豊かな誇りある日本女性
http://yamatobijin.jp